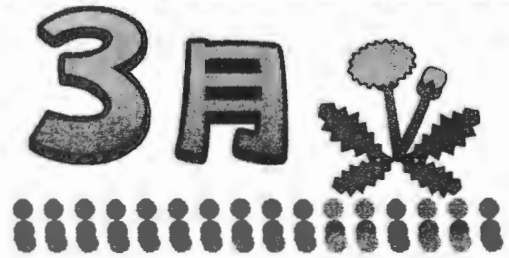


茅ヶ崎市立鶴が台中学校

鶴が台

若き心 集まるところ



平成30年3月 校長 伊藤 盛人

草木萌え動く

生命の息吹が

外へ表れ始める季節です。

市内で猛威を振るったインフルエンザは、一時には警戒警報が発令されるほどでしたが、今はすっかりなりを潜めました。3年生の生徒の中にも受験本番の日にインフルエンザで苦しんだ人が数人いたようですが、何とか乗り切ることができたようです。

気がつくと、日没時間は遅くなり、3月から最終下校時刻も18時になります。

朝、生徒を迎えるひと時に正門付近の白梅が満開になっていることに気づきました。春の訪れはもうすぐそこまで来ていますよ。

おめでとう！3年生

卒業への準備が始まっています

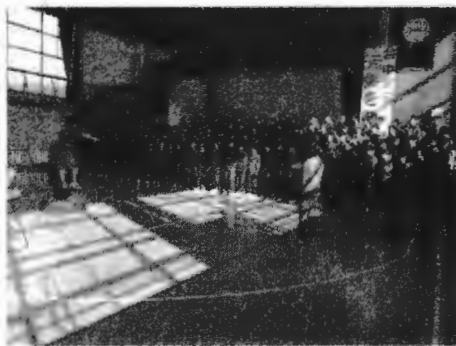
私立高校の合格発表が2月11日（日）以降に、共通選抜試験（公立高校）の合格発表も2月27日（火）に行われました。

一部、これから受験を控えている生徒を除き、中学校生活最大の難関である高校入試を乗り越えた3年生は、早く

も卒業への準備をスタートさせています。

学年全体で卒業式の練習を行ったり、個人個人で中学校生活

を振り返り、卒業式本番にむけて心を整えることになります。次へのステップをしっかり踏むためにも3年生には残りわずかな日々をかみしめて過ごしてもらいたいところです。



1, 2年定期試験が無事、

終了しました

2月14日（水）、15日（木）、16日（金）の3日間で学年の締めくくりとなる学年末試験を行いました。1, 2年生はこの学年末試験を乗り越えてそれぞれが進級することになります。1年間の締めくくりをしっかりと行い、2年生は最上学年へ、1年生は中堅学年へとそれぞれが自分たちの立場を自覚して進級にしてもらいたいものです。



「思いやり」について

3年生に特別授業を行いました

2月22日(木)3年4組で、26日(月)3年1,2,3組で特別授業を行いました。卒業を間近にした3年生に少しでも「生きるヒント」を授けたいと、校長、教頭が率先して授業を行いました。久しぶりの授業でこちらも緊張しましたが、どのクラスの生徒も温かく迎えてくれ、気持ちよく授業を行うことができました。

授業では実際に起きた事件をもとにいじめが起こる原因を考え、「思いやり」の大切さを確認しました。さらに、生徒のみんなには今日までの自分の生き方を振り返ってもらいました。

さすが3年生でした。こちらの指示に的確に反応し、盛りだくさんの学習活動を難なくこなしていました。また、発問に対しても大人の感覚で自分の思いを語っている姿が印象的でした。

出前授業(小学校)に行きました

新1年生の入学の準備も始まっています。2月15日(木)鶴が台小学校、香川小学校の2校に本校職員を派遣し、6年生(平成30年度新1年生)に向け、出前授業を実施しました。

各教室で6年生の意気込みを感じ、彼らの入学を待ち遠しく感じました。

鶴が台小学校

竹中先生(美術)「日常の道具を使ってへんでこ生き物を描こう」

塚本先生(理科)「なぜ?どうして?考えてみよう!」

香川小学校

座間先生(数学)「数学を楽しもう。かしこくなる~パズル~」

山口先生(音楽)「基本の発声」「卒業式の歌」

林先生(英語)「色を言えるようにしよう
書けるようにしよう」

部活動の移動について

定期試験が終了し、一斉に部活動生徒の声が校内に戻り、各部部員は春季大会にむけて活発に練習に励んでいます。

先日、部活動移動中、市内の中学生が交通事故に遭遇する事案がありました。以前から、自転車の移動について心配されています。県内の様子を見て

自転車移動が許可されているのは本市とわずかに一部の市となっています。

これらの様子をかながみ、各中学校で自転車での移動を自粛する方向で検討が始まっています。詳細については今後、追ってお伝えしていきます。ご理解とご協力をお願いします。



校長室より一言

**「やっぱりすごかった。やっぱり金メダル。
なぜ、人はこんなに強くなれるのか?」**

先日、閉幕した平昌オリンピックで、期待通り羽生結弦選手、小平奈緒選手の2選手が金メダルを獲得しました。

2人は大会直前のオリンピックに準じる国際大会でもトップの実力を発揮し、前評判が高かっただけに(実際には羽生選手は怪我をしていましたが)、本番のオリンピックでは期待通りの結果を出せるか、心配でした。しかし、心配はまったく無用でした。2人は予想通りに金メダルを獲得しました。羽生選手の演技は「王者の演技」と評され、小平選手の目は「獲物を狙う目」と表現されました。いずれも2人の姿には鬼気迫るものがありました。

また、今回、多くのメダル獲得者が競技後のインタビューで「周囲への感謝」を真っ先に語っていた点が印象的でした。彼らは、今回の栄誉は決して自分の力だけによるものでなく、周囲の支えがあつてこそと痛感しているのだと思いました。

私自身、日頃から思うことは、「自分の才能は他人によって磨かれる」ということです。多くの応援や支えがあつたからこそ、人は強くなれるのです。メダリストたちがそうであつたように、生徒には周囲の人に飛び込むことでさらに自分の力が磨かれると信じ、他人との関係性を大切にしてほしいと感じました。